



Look Beyond Yourself  
自分を越えた眼を

1991-92年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 ラジェンドラ・K. サブー ●第2560地区ガバナー 橋本 力
- 会長——渡辺宏策 ●副会長——内山辰策 ●幹事——石橋育於 ●副幹事——外山雅也
- SAA——五十嵐力 ●副SAA——渋谷正一 ●例会日——毎週水曜日 12:30～
- 例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 34-3311
- 事務局——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店 TEL 35-3477  
FAX 32-7095

|           |   |
|-----------|---|
| 出席者会員数    | 会員 74名中 49名   |
| 先々週出席率    | 92.96% (前年同期 92.11%)  |
| 今日のお花     | ダリヤ、アスパラガス  |
| ヴィジター     | 桐生中央より 笠原康利君、遠藤二三男君<br>三条南より 馬場信彦君、菊地賢一君<br>三条北より 山本 充君、佐藤啓策君、中条耕二君<br>石川勝行君、落合益夫君<br>加茂より 野本正次君  |
| 先週のメイクアップ | 9/26 燕へ 岩井数央君、轡田秋夫君<br>9/30 三条南へ 古沢富雄君、渡辺勝利君、金沢興宗君、<br>熊倉昌平君、斎藤弘文君、加藤紋次郎君、<br>近藤雄介君、外山一郎君<br>10/1 三条北へ 斎藤弘文君、堀川政雄君、内山昭二君、<br>長谷川有美君<br>10/1 新潟へ 渋谷健一君、捧 賢一君 |

**会長挨拶** 渡辺(宏)会長

先般新設された桐生中央クラブの遠藤君、笠原君のお二人がチャーターナイトのご案内にお見えになりました。ご苦勞様です。後程ご挨拶を戴きます。

先週の水曜日に歴代会長会議を開きました。大勢さんの御出席で色々アドバイスを戴きました。ありがとうございました。その中に元老方より最近例会時の早退が目立つとのご指摘が有りました。市内3クラブの会長、幹事会で、メイクアップ時も含め出来るだけ早退を自粛するという申し合せを致しまして、その旨お願いしてあります。ご協力お願い申し上げます。

**幹事報告** 石橋幹事

◎例会変更のお知らせ!

- 三条北RC——10月22日(火) 早朝クリーン作戦例会 AM6:00~7:00
- 10月29日(火) 職場例会 於 外山工業(株)
- 吉田RC——10月4日(金) 早朝例会 AM6:00~ 於 ふれあい広場
- 加茂RC——10月24日(木) 職場例会 於 東芝

ニコニコBOX ¥16,000 10月2日分

笠原康利君、遠藤二三男君(桐生中央RC)

初めてメイクアップにおうかがいします。2月23日のチャーターナイトよろしくおねがいいたします。

渡辺(宏)君、石橋君

9月25日、歴代会長会議並びに役員、理事指命委員会が開催されました。大勢の歴代会長さんから御出席いただき、大変ありがとうございました。

大谷君 久し振りにホームクラブ出席致しました。

山本(福)君 今日親子そろってお世話になります。

杉野君 県下柔道大会に世界チャンピオンの古賀選手が三条に来てくれました。

15人掛試合で柔道の真髓を見る思いをいたしました。

堀川君 久し振りの卓話です。よろしくお願ひします。

捧君 アメリカ15日間の旅、楽しんでできました。

斎藤(弘)君 去る9月5日の5クラブ有志ゴルフコンペに準優勝致しました。そのおり馬券を1人占め致し、数万円の収入がありました。

川又君 二州楼さんの新装5周年コンペに参加、4位になりました。

ヨーロッパ旅行へ行ってきました。(当クラブの堀川さんと)堀川さんの卓話、御願ひします。

**卓話** 海外へ出掛けた中での雑感

堀川政雄 会員

12回ほど海外へ行って参りました。最近ではかれこれ4回で12~13カ国を廻ってきましたのでその雑感をお話させていただきます。

卓話が大変気になっておりまして、中国でカラオケバーへ行きました時、アッこれだ!これをお話をしようと思ひました。カラオケバーにはいりまして世界は大きく変わっているのだと私なりに強く感じたのであります。それは今迄出かけた先々、土地々々で歌われている歌が変わるわけですが、日本の歌を思いだしても、大変ポピュラーでは有りますが坂本九ちゃんのスキャキソング(上を向いて歩こう)が歌われていることも有りましたが、中国では5~6年前は「北国の春」があたりまえでした。今回行きてびっくりしたのは、そこに一時間半位いたのですが残念ながら日本の歌は一曲も聞く事が出来ませんでした。誰も歌ってくれる人が居なく寂しさと同時に変わったんだなーと強く感じてきました。

最初に中国へ行きましたのは1977年で有ります。当時の中国では日本人の受け入れについては、年間19,500人と制限がなされておりましたが、当時は青年会議所の定年の年でありまして、北陸4県、青年の友好の翼と云うものに初めて参加したもので有ります。当時の中国の印象について私は中国の女性に口紅を売る商売をしてみたいな一と思ひました。と云うのは当時どの女性も人民服を着ておりまして化粧はしていない、口紅を塗っている女性はいなかったのです。中国の女性に口紅を一本ずつ売っても大変な金額になるな一と感じた事が印象として残っている訳ですが、ざっと15年たった今、人民服を着ている人はいない、そして日本の歌を歌う人もいなくなったなかで様々な服を着たり、ミニスカートの女性がカラオケバーにいたりする時代になった訳ですが、歌を一つ取ってみてもその国の基盤になったり変化と云うものを感じた訳ですが、そう云った面では中条さんのご尽力で国際交流協会が出来て中国との交流が始まって非常に素晴らしい事だと思っております。

今日は、敢えて皆様に申し上げたいのは表現はオーバーになるかも知れませんが中国に対しての理解をし直して欲しいと思ひます。日本の歴史からして中国に対して否定をした見方をして来た訳ですが、そんなものではない段階に入って来たな一と印象を受けて参りました。はたして作業工具業界を見ましても中国だからと軽視しておった感が強かった訳で有りますけれども。……

今回ヨーロッパ視察の最後はスペインでしたが私と同業者の社長と懇談を致しましたとき、かなり頭にきておられました。と云うのはモンキーレンチの生産数量と云う面では数あるメーカーの中では、その会社と私の所が一番結び深いし、今迄の競争の中でお得意



を変えて貰った所も何軒か有るのですが、それよりもスペインの業界にとって大変なのはアメリカ向けの輸出が減った、或いは無くなったと云うようなお話を聞いて改めてびっくりしましたが、国際競争力の変化と云うものが刻々と速いスピードで変わって来ていると云う事を我々は意識しなければならないものだと思います。

台湾に行きました時に、日本、或いは日本の業界に対して、非常に手厳しい批判を受けた訳ですが、いろいろな国が変わっている中であって日本は眠っているのではないかと云う指摘をされる話が有りましたが、ハッと私なりに感ずるところがあったので有ります。平成の好景気に恵まれて人手不足だと云う形のなかで騒いでいる訳ですけれども、地道に努力を重ねて国際競争力が駄目になった所、或いは変わってやり出して来ている所、と云う様な形で目まぐるしく変わって来ているのです。今回ヨーロッパ視察の前にヨーロッパの業界を予想していたのですがそれ以上にヨーロッパの内容が充実しておりましてヨーロッパの人達はいろんな意味において非常に努力をしている、創意工夫をしている、金をかけないで考え抜いていかに金をかけないで問題を解決して行く事は私達以上で有ります。それに比較して私達の設備投資にしても、金をかけすぎてコストを高くしてはいないかと？

また、それに対して認めて貰える企画がそれに見合った形に成っているだろうかと言う様な事を考えますとこれは素直に謙虚に考え直して出来るだけ金をかけないで国際競争力を固持、或いは維持出来る様な形の物作りと云う事を考え直して行かなければならなくなっているなと痛感した訳です。

今日、此所へ来る前に東京の人とお話をしていましたのですが、三条に対する非常に手厳しい注文と云いますかご指摘を受けて参りましたので一つだけ披露致したいと思います。『三条市は人口の割合に就労人口が多いですね、これは共稼ぎ率が非情に高いと云う事です。それに比較して町全体の工業出荷額が少ないですね、と云う事は一人当たりの生産額、販売額が低いと云う事で有ります。』この意味からすると一人当たりの工業出荷額を高めて付加価値の有る仕事を増やしてよその町並みの人件費率が吸収出来る様な形に切替えていかねばならない時代に入っている。この様な面に対して今一つの裏付けのデータとしては、職安関係のデータを聞いてびっくりしたのですが今の時代背景として、求人会社1,060社の内、就職希望者が一人以上の応募のあった企業が350社しかなかったと云うデータです。これを見ても三条の業界の方向づけを定める一つの判断基準になるのかなあーと私なりに理解している訳ですけれども、結論めいたのが先になってきましたが、あっちこっち行ったなかで歌われている歌が変わっている訳ですが、それでは中国でどんな歌が歌われているかと言いますと殆どが台湾の歌で有ります。台湾と中国の関係、台湾の伸びに対しての中国の伸び方、それから同胞などいろんな意味の中で置き換えられて来ている段階に入ってきた。また、女性は美しく化粧を、そして考えもしなかったカラオケバーで楽しく歌う様な形になり、15年前ではとても考えられなかった様な様変わりです。

そんな意味で二、三話を列挙してみたいと思います。実は丁度韓国からアメリカへ入る

アトランジェットの時アンカレッジで湾岸戦争より帰って来たアメリカの兵隊さん達と一緒に成りました。彼等の逞しさ、青年としての逞しさというものを同じ年代の日本人兵士と比較したら、非常にひ弱な、物足りなくて、考え方が足りないと云うか或るいは軍隊に従事する事に対する理解の仕方が恵まれているが故にそういう意識が無く幸せな生活をしている日本の若い人達に対する教育とか有り方と云うものはやはり今考え直さなければいけないのでは、長い目で見た場合においてその様な人達が今の延長のなかで年を重ねていった時の将来の日本はどうなるのかと心配を感じた場面が有った訳です。

又、為替の問題でいろいろのものが変わって来ています。例えば、日本とアメリカを比較して、かつてアメリカにおいて朝飯1ドル時代で朝飯1ドルと云うのは当時1ドル360円で今日、日本のホテルで朝食、お粥定食を食べますと2,000円位取られるんですけどもそれが今、アメリカで5ドルも出せばそれなりに満足する食事が出る、或いはルームチャージひとつ取ってみてもまったく逆転している訳で有ります。今アメリカの人は日本へ来るのを嫌がります、と云うのはホテル代、食事代が高いのが非常に敏感に響く様で有りまして、たまたまワシントンで一流のステーキレストランへ食事に行きました時、支払ってくれる方が金額を見てびっくりしまして支払いを躊躇した場面が有りました。そんなにアメリカ人達は食事代に敏感なのかと改めて感じた訳で有ります。4人で食べたステーキコースが4人で26,000円(1人6,500円)でしたがアメリカの人達は普通低生ステーキと云って今の為替からすると1,300円位のステーキを食べて満足している訳ですから、4人で26,000円だとびっくりするのも当然で有ります。

ホテルといいますと、今アメリカの人達が日本へ来まして東京でそこそこのホテルへ泊まりますとアメリカの感覚からすると200ドル位のルームチャージとして支払う訳ですが、これがアメリカへ行きますとおおよそ半分位で済みます。我々がアメリカへ行きますと100ドル位で同等のホテルに泊まれる訳ですがこの様なコストの違いの出ている中でコストを合わせる努力というものは並大抵ならぬものが有る訳です。

本来的には、日本はもっともっと輸出を続けなければ成らない一つの要素が有る中で最近輸出が軽視されて国内景気にカモフラージュされている感が有ると思うのですが不景気に成って来るとそのへんの見直しも謙虚にやり直さなければいけない。

先程もお話を致しました様に金をかけないで創意工夫をして問題を解決する労力が必要で有る。一人当たりの生産金額を上げて付加価値を上げ、他の町並みの人件費を支払える様な付加価値を作っていく形で仕事の変換と云うものが必要だなあーと感じているもので有ります。地元で商売を続けて行く為にはこの様な方向への見直し、或いは考え方を変える、そしてただ単に地元の者同士と云う事で無く国際感覚と云うものを意識した中で判断の仕方を変えて行く事が大事な時代に成って来たなあーと云う感が強い訳で有ります。

伝統有る地場産業に支えられて来たこの三条もこの流れの中にどの程度合っているだろうか？ このままの形で行けるものと切替えて行かなければ成らないものの中で三条の企

業で一部その様な形で切替えている所もある様ですが大半の所はまだまだ何とか三条の今迄のやり方でやれるだろうと今の景気の中でカモフラージュされた感が強い様でならない。私、地元で仕事をしているなかでもっとあってもよいのではと物足りなさの中のひとつに三条で作っている品目の数は相当なもので有りまして、三条市のカタログを見られましても、三条でこれだけの品物が出来るのかと改めてびっくりさせられる訳ですが、その中で海外へ持って行って競争出来る品物がどの位有るだろうかと云うと大変寂しいものが感ぜざる訳ですが、有る程度の数字になっている物は作業工具位で有りまして、未だコストの問題とかマーケットの開拓の仕方によってはまだ輸出適格品は有るだろうし、そういった物を作って行かなければならないと思います。そういった面ではドイツへ行っていつも感じるんですがドイツの刃物メーカー、ヘンケル社は時代が変わっても堂々と世界のマーケットにあの良品物をあれだけ高い品物で、世界の人を買ってくれるような品物が、時代が変わっても通用するような品物を作っていると云う点ではさすがだなあ—とっております。そういった面では三条の品物も作り方の考え方の中で一つずつチェックして行き、もっと満足する様な努力が生かされて欲しいものだと思う訳で有ります。

何れにしましても三条の一人当たりの工業生産高が低く、低いなかで労務配分比率が高く平均賃金が低い、これでは三条の業界の先行きの面では非常に気が重い訳で有ります。一部ですが、早くに方向転換をして一人当たりの生産高を高めて賃金をスムーズに上げている立派な会社が出てきている訳ですが、この様な企業が引き続いて出てくる様な、町としての理解、コンセンサスと云うものを得ながら地場産業の発展が更に充実出来る様な形になって欲しいものだと地元の一人として海外へ出掛けたなかで感じた事を一言お話させて頂きました。



野村竹三郎会員  
米山功労者として

---

10月9日例会 職場例会 於 内田製作所

---

10月16日例会 卓話 野村竹三郎会員

---

10月23日例会 秋の味覚例会 PM 5 : 00

---